



民・自・公で何を協議するの？

消費税増税に執心

民主党は消費税を上げないことをマニフェストに掲げて先の衆院選挙で勝利。政権を獲得。ところが、野田首相は「消費税増税！」に政治生命をかける。

一方、二〇一一年度税制改定では法人税の「減税！」を決めている。財源の論議なしに。何故か？それは法人税減税の財源は消費税だから。

法人税と消費税

一九八八年に消費税導入以来、二〇一〇年度までに国民が納めた消費税は二二四兆円。その間、法人税は二〇八兆円減。同時に所得税の最高税率も下げられた。

「福祉の為」と導入した筈だが、実際には法人税減税、高額所得

者の減税に使われた。消費税を上げれば景気が悪くなるのは、既に証明済み。

自民党のシナリオ

自民党は消費税増税の採決の日程明示を民主党に迫る。消費税増税は自民党の選挙公約だが、国民の評判が悪い。何とかして民主党のせいにして決めてしまいたい。

オウムの高橋克也の

逃走が新聞の一面トップを飾っている。この間に、民主党と密室で「修正協議」を続けられ、日本共産党などと国会で論戦しないで済む。そして「日程」が来れば一挙に採決。国会での審議を無しにする、クーデター。これが自民、民主の描くシナリオでは？
皆さんはどう思われますか？

民宿「清次」きよじ

(高山市 旧丹生川村)にゅうかわ



長野県の松本から西に進むと上高地への入口。その先、岐阜県側のすぐ南、乗鞍連峰の山腹に「五色ヶ原」がある。これまで人が殆ど入っていない「秘境」がある。保護の為、入山するにはガイドツアーへの参加が必須。花や木の名前、山の成り立ちなど、折に触れて話してくれ、飽きることはない。

民宿ではとれたての行者ニンニク、山ウドを味わい、岩魚釣りの常連さんや山の木の枝を冬の間に伐り、温室で花を準備するとういう花材業者さんなどの話を聞くことができた。

宿の「すみ子おばあちゃん」の「むごい目にあつた人の魂を慰める為」と、遠い長崎まで足を運んだという話に心をうたれた。